

平成28事業年度

決 算 報 告 書

自：平成28年4月 1日

至：平成29年3月31日

国立大学法人宮崎大学

平成28年度 決算報告書

国立大学法人宮崎大学

(単位：百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算－予算)	備 考
収入				
運営費交付金	9,334	9,395	61	(注1)
施設整備費補助金	73	62	△ 11	
厚生労働省交付金	-	-	-	
補助金等収入	413	679	266	(注2)
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	57	38	△ 19	
自己収入				
授業料、入学料及び検定料収入	3,120	3,054	△ 66	
附属病院収入	17,992	18,569	577	(注3)
指定管理料収入	-	893	893	(注4)
財産処分収入	-	-	-	
雑収入	461	502	41	
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	1,365	1,958	593	(注5)
引当金取崩	-	41	41	
長期借入金収入	345	261	△ 84	
貸付回収金	-	-	-	
前中期目標期間繰越積立金取崩	-	65	65	(注6)
目的積立金取崩	50	-	△ 50	(注7)
計	33,213	35,522	2,309	
支出				
業務費				(注8)
教育研究経費	10,193	10,535	342	
診療経費	19,405	20,222	817	
施設整備費	476	362	△ 114	(注9)
補助金等	413	544	131	(注10)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	1,365	1,903	538	(注11)
貸付金	-	-	-	
長期借入金償還金	1,360	1,357	△ 3	
大学改革支援・学位授与機構施設費納付金	-	-	-	
計	33,213	34,925	1,712	
収入－支出	-	596	596	

○予算と決算の差異について

(注1) 運営費交付金については、平成28年度補正予算（授業料免除枠）や特殊運営費交付金（退職手当、年俸制導入促進費）の追加交付による増等により、予算額に比して決算額が61百万円増額となっています。

(注2) 補助金等収入については、各種補助金の受入額の増加により、予算額に比して決算額が266百万円増額となっています。

(注3) 附属病院収入については、高額薬品使用量増による注射料収入の増やリハビリテーションの増、高額手術件数割合の増により、予算額に比して決算額が577百万円増額となっています。

(注4) 指定管理料収入については、指定管理料の受入により予算額に比して決算額が893百万円増額となっています。

(注5) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、受託研究等及び寄附金の受入増により、予算額に比して決算額が593百万円増額となっています。

(注6) 前中期目標期間繰越積立金取崩については、(注7)に示した理由や、年度途中での取崩計画の変更により、予算額に比して決算額が65百万円増額となっています。

- (注7) 目的積立金取崩については、年度途中で前中期目標期間繰越積立金として承認を受けたため、予算額に比して決算額が50百万円減額となっています。
- (注8) 業務費のうち、教育研究経費は、動物治療収入と農場及び演習林収入に対応する材料費支出額の増や、人件費及び退職手当の増等により、予算額に比して決算額が342百万円増額となっています。
一方で、診療経費は、(注3)や(注4)に示した理由や、ハイブリット手術室改修工事完了による全室稼働に伴う材料費の増、コメディカルスタッフの増員により、予算額に比して決算額が817百万円増額となっています。
- (注9) 施設整備費については、当初事業計画の変更による交付額の減額により、予算額に比して決算額が114百万円減額となっています。
- (注10) 補助金等については、(注2)に示した理由により、予算額に比して決算額が131百万円増額となっています。
- (注11) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、(注5)に示した理由により、予算額に比して決算額が538百万円増額となっています。